

「学まち連携大学」促進事業 山科・醍醐地域で「変化を楽しむ」地域連携型教育プログラム＜京都橘大学＞

- I「見える！！地域連携」プロジェクト(地域連携活動の可視化)
II「区民に身近な大学へ」プロジェクト(京都薬科大学との共同事業)



学生の成長・地域での存在感

成果(2020年10月～2022年9月時点)

- ・2021年度学生地域連携活動助成事業「学まちチャレンジ！プロジェクト」を創設。
2021年度7/7件(採択／申請)、2022年度8/8件(採択／申請)

2022年度は8団体に加えて本学学生と地域企業や団体と連携した課題設定型の取組をすすめている。

連携団体: 山科区役所、京都信用金庫山科支店、醍醐いきいき市民活動センター

2021年度は、山科・醍醐地域にて各種イベントの実施、山科区のマップ制作などを行い、地域活動のなかで、様々な機関や団体との連携がみられた。

2022年度は、9月時点で和太っ鼓たちばな、OSJ橘が地域の小学生等に向けたイベントを実施。京焼・清水焼広め隊！は、観光客を対象に箸置き絵付けワークショップを実施。

- ・2020年度京都薬科大学と共同学生団体ME-ME(ミーム)を設立。
所属学生数は2022年9月時点15名

2021年度は春秋山荘(山科区)、醍醐いきいき市民活動センターで、2022年度は株式会社ビバとの共催により東野公園で薬膳喫茶(2022年度より景観喫茶に改称)を実施。京都市山科中央老人福祉センターでは、介護予防事業としてネイルアートを取り入れた指先トレーニングを実施した。

- ・2021年度京都薬科大学との市民向け共同公開講座「京のやくたちばなし～健康で豊かに暮らすコツ～」を対面開催とオンライン開催併用のハイブリッドで全3回の公開講座を開催し、両大学の教員が主テーマに沿ってそれぞれの視点から講演を行った。(参加者数のべ299名)※第2回は緊急事態宣言発令のためオンラインのみでの実施

学まちチャレンジ！プロジェクト採択団体一覧

	団体名	プロジェクト内容
2021年度	えしかるず橘	山科区でのエシカル消費についての認知度向上を目的にエシカルマルシェへの参加、運営
	高齢者居場所づくり支援団体	クリスマスリースづくりイベントを通じた高齢者の居場所づくり
	とんだためき	臨済宗妙心寺派華山寺(山科区)で山科を舞台にした演劇を上演
	まちづくり研究会	ドレミパブリックイベントを通じた高齢者の居場所づくり
	山科に行くっ！	山科の魅力を伝えるリーフレットの制作
	Reha Papers	リハビリの知見発信サイトの開設
2022年度	歴史遺産学科考古学コース有志	山科区内の遺跡から出土した遺物と解説パネルを「アートロードなぎつじ」に展示
	AVO (アボ)	京野菜の普及を目的としたイベントの実施
	えしかるず橘	「エシカル消費」をテーマにエコバックワークショップを通じた山科地域における地域の魅力再発見プロジェクト
	OSJ橘	地域の小学生を対象とした書道イベント、書道教室の実施
	図書館情報学研究会	本の魅力を伝えるイベントの実施や、おすすめのブックリストの制作など、本をとおして地域とのつながりをもつプロジェクト
	京焼・清水焼広め隊！	京焼・清水焼の魅力発信イベントの実施、リーフレットの制作
	スポーツリハビリテーションサークル	運動系クラブの中学生を対象としたケガ予防教室
	まちづくり研究会	映画・レコード鑑賞をきっかけとした高齢者の居場所づくり
	和太っ鼓たちばな	地域の方に和太鼓を知ってもらい、楽しんでもらうプロジェクト

2022年度取組予定(2022年10月～2023年3月)

- ・学まちチャレンジ！プロジェクト
OSJ橘の書道教室の開講、スポーツリハビリテーションサークルの中学生対象の「大学生が教えるケガ予防教室」他、それぞれの学生団体でプロジェクト活動を行っている。
- ・共同学生団体ME-ME
山科・醍醐地域および京都市内で景観喫茶などのイベントを実施予定。併せて新メンバー募集も継続して行う。
- ・市民向け共同公開講座
9月「身近にある健康サポートのやくたちばなし」、10月「こどもの健康に関するやくたちばなし」、11月「こころを健康に保つやくたちばなし」を実施。

2023年度取組予定(抜粋)

- ・共同学生団体ME-ME
山科・醍醐地域および京都市内でのイベント実施を継続。
所属学生数20名を目指す。
- ・卒業生インタビュー事業
2023年度までに10名の卒業生へインタビュー
- ・地域住民の模擬患者としての演習等への参加人数 のべ200名
- ・共同公開講座 年間4回の実施を目指す

推進体制

「地域連携センター」の体制変更により、センター長のもと迅速かつ柔軟な意思決定ができるようにした。